

# 花通心



発行：NPO法人加古川緑花クラブ (KRC=Kakogawa Ryokka Club)  
〒675-0111 加古川市平岡町二俣884-14 Tel/Fax: 079-437-6252

## 2024年新春 理事長挨拶

新しい年を迎え、ご挨拶を申し上げます。今年は元旦から能登半島地震があり、大変な年明けになりました。29年前の阪神淡路大震災が思い出されたのではないでしょうか。地震でなくなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方に心よりお見舞い申し上げます。そして1日も早い復旧・復興を祈りながら、私たちもできる範囲で息長く支援をして行きたいと考えています。さて、当クラブは今年の12月に創立19年目を迎え、来年は20周年です。コロナも5類感染症になりましたので、今年は4年ぶりにコロナ前と同じような活動ができると期待します。また今後も、持続可能な活動を続けていくために、クラブの運営や活動内容について、何をすべきかを皆で考え課題に取り組んで行きたいと思いますので、会員の皆様、ご協力よろしくお願いいたします。今年も「明るく！元気に！美しく！」をモットーに、頑張っていきましょう。



令和6年2月 理事長：有川優一郎

## ✿街角花壇だより・・・12月に葉ボタン・ビオラを中心に植え替えた花壇が1月の寒い中、健気にたくさんの花を咲かせています



神野駅北花壇



東加古川駅北花壇



平野交差点西花壇



平野交差点東花壇



加古川駅北花壇



良野交差点花壇



加古川駅南花壇



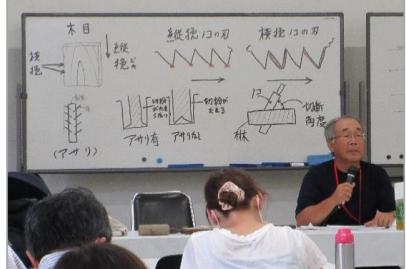
溝之口花壇

# 2023年度「花とみどりのまちづくり講座」を振り返って \*

安尾先生のご勇退の後を引き継いで、令和5年4月より加古川緑花クラブが、「花とみどりのまちづくり講座」を新体制で運営する事になりました。これまでの月4回の開催を月2回にし、フラワーコース、ツリーコースの選択制をやめ、単一コースの講座として新しくスタートしました。募集チラシに予定カリキュラムを掲載したことが良かったのか、定員30名をオーバーする申し込みがあり、最終的に募集人数を36名に増やして、4月8日の開講式より令和5年度の講座が始まりました。

新体制のもと手探りで始めた講座でしたが、これまでに計画通り21回の講座を終えることができました。これも講師、受講生、会員スタッフの皆様のおかげと感謝しております。これからも講座の目的「ガーデニングの基礎から植物栽培に関する知識や技術を習得し、ボランティア活動ができる人材を育成する」を達成するために、より良い講座になるよう努めて参りますので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

まちづくり講座事務局 有川 優一郎



## ボランティア活動への思い（受講生）

10月28日の講座では、絆花壇のメンバーに教わりながら花壇の手入れ作業を実施したあと、加古川市役所公園緑地課、山本係長を始め、ボランティア活動をされている絆花壇のみなさんや加古川緑花クラブの会員も参加し、ボランティア活動について意見交換を行いました。その中で、受講生が語った気づきや思いについて、一部ですが紹介します。

やれるところから参加すればよいというNPOの方の話と、花フェスやパブリックアート展への出展を通して、深まった講座の仲間との縁が切れるのは寂しいと思い、昨年4月にNPOに入会した。ボランティア活動はメンバーそれぞれの生活リズムも異なるため、縛るのはやめて楽しく参加できることをモットーにやっている。講座の知識と仲間との繋がりをその後ボランティア活動へとつなげていくというしくみを作ってくださった先人の方達に感謝している。 1班 江口

ボランティア活動は年を重ねる中で生きがいや人のためになるので、大事なこと。自分も身体を動かしフレイル予防にもなり友達もできるなど、総合的に考えると素晴らしいことだと思う。長く続けるために自分に興味関心のあることを見つながら、少しずつボランティアに参加できるといいなと思う。 2班 高見

講座を受けていて感じることが、スタッフの皆さん、小さな種を数えて仕分けしたり、資料作りなど準備が本当に大変だと思う。恩返しで何かできることができればやりたいが広報誌、花通心の編集作業やホームページの更新など、何ができるかなと考えている。 2班 竹内

日岡山公園内の大型プランターのお世話を昨年度からしている。パブリックアート展のために、授業の一環で花を植えたり、プランターをペイントしたりしたが、講座卒業後もお世話を続けたい、できる人ができる時にと緩い感じで、花を植えたり水やりしたりと、みんなで楽しくやっている。自主的に楽しくという事が私のモットーでもあるので、これからも続けてやっていきたいと思う。 3班 北面

「ボランティア活動」とは、活動の中に楽しさを感じられることが一番であり、加えて、なにか役に立っていると実感できれば、進んで長く取り組めるものと思っている。今日の講座を通して、改めて「ボランティア活動とは」を確認できた。私にとって、日岡山公園での活動はそういったもののように考えている。 4班 宮永



〈絆花壇手入れ体験後の受講生集合写真〉

# 2023日岡山パブリックアート展 SDGs ~ つづく、広げる、未来に向かって

今年は「SDGs～つづく、広げる、未来に向かって」をテーマに、花とみどりのまちづくりの大切さを知ってもらおうと、森の中のコンサート、樹木をめぐるスタンプラリー、竹のモニュメントや風車など、日岡山公園の豊かな自然を背景にイベントを実施しました。松ぼっくりの車のカーレース、竹ピンボウリングなど、子供たちにも自然のものを使った遊びを体験してもらいました。会員が育てた花苗の販売に加え、再利用の目的で、NPO会員、講座生、OBが持ち寄った不用品を掘り出し市で販売し、NPO会員や講座生による寄せ植えが会場を華やかに演出しました。今年も晴天に恵まれ多くの来場者でぎわうことができました。



キンモクセイの演奏が公園の自然の中、響き渡りました



竹のモニュメントと風車が公園を彩りました



スタンプラリーで樹木に関心をよせてもらいました



松ぼっくりのカーレースと竹ピンボウリングで子供たちに自然素材での遊びを体験してもらいました



花のアーチのフォトスポット



会員手作りの雑貨、花苗は今年も好評でした



会員、OB、受講生が持ち寄った品で掘り出し市



## 会員コラム

### 安井 美由紀

私は養成講座の7期生です。楽しかった15年を振り返ってみました。卒業制作は展望所下の「市松の庭」、瓦とリュウヒゲで市松模様を表しました。寒い雪の日に縁石を敷き、頂いた竹で生垣を作り、竹を縄で結ぶのが難しかったです。夏には瓦が焼け、リュウヒゲが何度も枯れ、春、秋にはそれを補植しました。昨年夏は柏葉アジサイが沢山の花をつけ、秋はドウダンツツジが真っ赤に紅葉してくれました。街角花壇の担当は平野東花壇です。お手入れをしていると、幼稚園児が通り「きれいだなあ」町内の方も「いつも楽しみに見ています」「ごくろうさん」「花の名前は?」「育て方は?」等、声をかけてくださいます。水曜会では、公園の桜やコバノミツバツツジの木の本数調べ、コバノミツバツツジは「2020年に2020本に増やす」を目標に山から苗を移植したり、春には枝を挿し木したり、生育の難しい苗作りでした。私は出来ませんでしたが、成功された方々もおられます。成長した苗はKRC広場で育てて公園に移植し、目標は達成されました。春には桜とともにコバノミツバツツジが毎年可愛く咲いています。その他には堆肥作り、カブトムシの生育、巨大ガチャ作りなども行いました。花苗部ではフェスティバル、矯正展にむけての苗をつくりました。当日に花を咲かせるため、季節を先取りしての種まきは発芽、成長がとても難しかったです。樹木観察会では知らないことが多く、沢山の発見や学びを得ることができました。公園に来られた方が「木に名札をつけてほしい」と言っています。インターリターでは、お客様を公園案内したり、OAAはりまハイの依頼を受け、親子と一緒に星見会、ゲーム、木の実や葉っぱを使ったリース作り、折り紙等をしたり、沢山の笑顔に出会うことができました。フェスティバルでは私の趣味の日本伝統の折り紙（鯉のぼり、兜、ピカチュウ、忍者等）を子供たちにお渡しました。緑と花いっぱいの日岡山公園を思い出して、「行ってみたいな」と思って欲しいという願いをこめて。

## 2023年度トピックス



〈4月 花とみどりのまちづくり講座 開講式〉



〈4月 加古川緑花クラブ 例会〉



〈4月 花とみどりのフェスティバル〉



〈6月 講座のようす〉



〈6月 氷丘小学校フロントガーデン植栽体験〉



〈10月 日岡山 パーリックアート展〉



〈11月 氷丘小学校腐葉土づくり体験〉



〈12月 ライオンズクラブ 清掃活動の落葉で腐葉土作り〉



〈12月 納会で温かい善哉を賞味〉



〈12月 門松完成〉



〈1月 水曜会の片付け作業〉



〈1月 街角花壇の見学講座〉

### 樹木観察会だより 2024.1.15 日岡山公園内

藤井 正幸



「樹木の葉」と言っても、様々な種類があります。縁の形、基部の形、葉の付き方により樹木の名前を知る手がかりになります。例えば、葉の縁の形は大まかには縁にギザギザのあるものとないものの2種類、基部の形は大きく分けるとハート形とくさび形の2種類、葉の付き方では束生、羽状、輪生、対生、互生の5種類あり、更に広葉樹と針葉樹に分かれます。公園内にあるメタセコイアとラクウショウは似ていますが、よく葉を観察すると、メタセコイアは対生、ラクウショウは互生ということが分かります。



#### フィリフェラオーレア (記念花壇)

冬に記念花壇を鮮やかに彩る低木、フィリフェラオーレア。ヒノキ科ヒノキ属、常緑性のコニファーの一種。暑さ、寒さに強く、日光を浴びることで葉色が色鮮やかな黄色みを帯びる。オーレアは黄色という意味。



#### ジャノメエリカ (こもれ日の庭)

こもれ日の庭では冬に、ジャノメエリカが小さなピンクのつぼ型の花をつける。ジャノメエリカは南アフリカ原産のツツジ科。花冠から濃い紫色の薔（ヤク、オシベのこと）がとびでており、そのようすが蛇の目玉にみえることから名付けられた。

